

論文審査の結果の要旨

2020年5月7日18時から、オルコスホール1522号室にて、倉持 泉氏（川越キャンパス精神医学）の学位審査を主査1名、副査3名で行った。22分のプレゼンテーションの後、1時間程度の質疑応答が行われた（質疑応答の詳細は別紙）。

審査は、「埼玉医科大学学位規則のうち博士に関する運用細則」（令和2年2月28日改訂）第7条の2にある、研究背景の理解度、研究テーマの妥当性、研究手法の妥当性、研究の倫理性、論文の論理性、論文の学術的意義、申請者の学識・識見、のポイントに基づいて検討した。その結果、いずれの項目も学位取得に十分な能力を有していると判断され、全員一致で「適格」と判定した。

結果のサマリーは以下の通り。5段階で、平均的な学位取得者のレベルを3として、5：非常に優れている、4：優れている 3：平均的 2：やや劣る 1：非常に劣ると評価。

	中央値【四分位範囲】	平均値
研究背景の理解度	4 [3~5]	4
研究テーマの妥当性	5 [4.25~5]	4.75
研究手法の妥当性	4 [4~4.75]	4.25
研究の倫理性	4 [4~4]	4
論文の論理性	3.5 [2.25~4]	3.25
論文の学術的意義	4 [3.25~4]	3.75
申請者の学識・識見	4 [3.25~4]	3.75

各審査員のレポートは別添。

また、学位申請書類の記載に小修正が必要な箇所があり、その指示をし、再提出された学位申請書類を主査が確認した。